

「防災教育テキスト」を活用した防災教育

学校名	上関町立上関小学校	実施時間	理科（5年）
-----	-----------	------	--------

1 ねらい

- 土砂災害が起こる仕組みや洪水を防ぐ工夫を調べることを通して、災害に対する意識を高め、土砂災害から命を守るための備えができるようにする。

2 展開

学習内容・活動	教師の働きかけ	指導上の留意点												
<p>1 広島県における8.20豪雨災害の様子を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中豪雨による被害 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の中でも、特に今年の夏に起きた土砂災害について想起させ、「どのようなことを感じ、どんなことを考えたか。」を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島豪雨災害の写真を提示し、被害の大きさや人命が奪われたこと等について、実感をもたせる。 ・自分のこととして考えられるように、上関町の地形を考えさせる。 ・現実的に捉えさせるために、一人ひとりに考えたことを発表させる。 												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f7fa;">土砂災害から命を守る備えについて考えよう。</div>														
<p>2 土砂災害の種類や発生の仕組みを知る。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>仕組み</th> <th>前ぶれ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土石流</td> <td>大雨。多くの土砂が水と混じり津波のように流れる。スピードが速く、破壊力が大きい。</td> <td>立木がさける音。石がぶつかる音。川の水の濁り。流木が混ざる。</td> </tr> <tr> <td>がけくずれ</td> <td>大雨。土がゆるみ、突然くずれ。スピードが速い。</td> <td>がけからの水がにごる。小石が落ちる。木の根が切れる音。</td> </tr> <tr> <td>地すべり</td> <td>地面全体がずるずる動き出す。</td> <td>地面にひび割れが生じる。川の水が濁る。家の壁にひびが入る。</td> </tr> </tbody> </table>		仕組み	前ぶれ	土石流	大雨。多くの土砂が水と混じり津波のように流れる。スピードが速く、破壊力が大きい。	立木がさける音。石がぶつかる音。川の水の濁り。流木が混ざる。	がけくずれ	大雨。土がゆるみ、突然くずれ。スピードが速い。	がけからの水がにごる。小石が落ちる。木の根が切れる音。	地すべり	地面全体がずるずる動き出す。	地面にひび割れが生じる。川の水が濁る。家の壁にひびが入る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「防災教育テキスト」を活用し、土砂災害の発生メカニズム、種類、前ぶれについて理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生理科「流れる水のはたらき」で学習したことを想起させる。 ・仕組みや前ぶれを全員にイメージさせるために、「防災教育テキスト」の絵を拡大して説明する。
	仕組み	前ぶれ												
土石流	大雨。多くの土砂が水と混じり津波のように流れる。スピードが速く、破壊力が大きい。	立木がさける音。石がぶつかる音。川の水の濁り。流木が混ざる。												
がけくずれ	大雨。土がゆるみ、突然くずれ。スピードが速い。	がけからの水がにごる。小石が落ちる。木の根が切れる音。												
地すべり	地面全体がずるずる動き出す。	地面にひび割れが生じる。川の水が濁る。家の壁にひびが入る。												
<p>3 自分の家の付近で危険な場所を知る。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの見方 赤枠：土砂災害特別警戒区域 緑枠：土砂災害警戒区域（がけくずれ） 青枠：土砂災害警戒区域（土石流） 黄枠：土砂災害警戒区域（地すべり） ・予定避難場所 </td> </tr> </tbody> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの見方 赤枠：土砂災害特別警戒区域 緑枠：土砂災害警戒区域（がけくずれ） 青枠：土砂災害警戒区域（土石流） 黄枠：土砂災害警戒区域（地すべり） ・予定避難場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップを手がかりに、自分の家や住んでいる地域の危険性を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりに、住んでいる地域のハザードマップを配り、自分の家の場所を記入させる。 ・わからない児童には、班の中で教え合うようにさせたり、助言したりする。 ・家の場所と危険箇所を見て、災害が現実的に起こるかもしれないという意識をもたせる。 											
<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの見方 赤枠：土砂災害特別警戒区域 緑枠：土砂災害警戒区域（がけくずれ） 青枠：土砂災害警戒区域（土石流） 黄枠：土砂災害警戒区域（地すべり） ・予定避難場所 														
<p><上関町ハザードマップ></p>														

<ハザードマップで自分の家と危険箇所を確認>



4 土砂災害から命を守る備えについて考える。

- ・危険な場所を知る。
- ・家族で天気予報を見て最新の情報を確認する。
- ・避難場所を家族で確認しておく。

- ・上関町での土砂災害発生を想定し、どのような備え（自分ができること、しなければいけないこと）が考えられるか、話し合わせる。

- ・「防災教育テキスト」を参考にしながら、グループで話し合い、発表させる。また、机間指導をしながら、友達が気付かないようなことを考えていけば、チェックをしておき、全体で紹介する。
- ・自分でもできることを焦点化し、まとめるよう指導する。
- ・家族と一緒に確認しておくことの大切さに気付かせ、家庭での話題にするよう助言する。

5 本時の学習を振り返る。

- ・今日の学習で考えたことや気付いたことをまとめさせる。

- ・まとめたことを発表させ、課題に対する学習内容を全体で確認する。

<振り返りの内容>

- ・今まで知らなかったけど、僕たちの周りにもがけくずれや地すべりの警戒区域があることがわかりました。自分の体は、自分で守るようにしたいです。
- ・土砂災害のことを学習して、私が災害に巻き込まれたら何が起きたかわからないぐらいこわいだろうから、避難場所を家族で決めておきたいと思いました。
- ・意外と、わたしたちの身の回りにも土砂災害で危険な所がたくさんあることを初めて知りました。これからは、もし、危険なことを見つけたら、学んだことを活かして命を守れるようにしたいです。
- ・まず、危険なことがあったら、大人にすぐ伝えます。いつ起こるかだれにもわからないので、テレビ（ニュース）などで知っておくようにします。家族と避難場所を決めておきます。
- ・いつ災害が起こるかかわからないので、早めに備えないといけないことがわかりました。ハザードマップで、避難場所をしっかりと確認します。ハザードマップの「危ないところ」以外が100%安全とは限らないから、日頃から備えるようにしようと思います。
- ・土砂災害等は、いつ起こるかかわからないので、いつも警戒をしておいて、避難場所や危険な場所をもっと知っておこうと思いました。家族で避難ルートを確認しておこうと思いました。意外に身の回りに危険は多くありました。

3 今後の取組

「防災教育テキスト」を活用した学習は、児童が防災に対して理解を深め、意識を高めるのに、とても効果的であった。理科学習5年「流れる水のはたらき」の中で実施したので、水の力をより現実的に理解させるとともに、土砂災害が命を奪うことや生活に与える影響が大きいこともしっかり考えさせることができた。その上で「命を守る備え」として自分に何ができるのかを考えさせたが、より効果的にするためには、家庭と連携することが必要だと感じた。今後、大雨の時には、常に備える気持ちを持ち続けるよう指導していく。